

杉の子だより

NO.11
令和8年3月13日発行
ちくさ杉の子こども園
園長 平瀬 晶子

寒さの中にも少しずつ春のぬくもりを感じられるようになりました。
もうすぐ卒園、そして進級の時期を迎えます。この1年間で日々色々な経験を重ね、また、地域の行事に参加し、子ども達は心も体も大きく成長しました。友達と助け合ったり、笑いあったり、時には気持ちをぶつけあったりしながら過ごす姿に頼もしさを感じます。
先日、遊戯室でお別れ会を行いました。オレンジ組(4歳児)が中心となり、りんご組(3歳児)と一緒に『どうしたらメロン組(5歳児)さんに喜んでもらえるかな?』とみんなで話し合いながら準備を進めてきました。進行もとても上手で『ありがとう』の気持ちを込めて歌を歌う姿が立派でした。当日の給食はメロン組のリクエストで、カレー、からあげ、ポテトサラダ、いちご子ども達みんなが大好きなメニューでした。カレーの下ごしらえはオレンジ組とりんご組が手伝ってくれ、協力して準備をしました。4月にはそれぞれの新しい一歩を踏み出します。子ども達がこれからも健やかに成長していくことを願いながら一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。
今年度も保護者の皆様をはじめ、地域の皆様の温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。来年度もよろしくお願ひいたします。



令和7年度こども園関係者評価について

年度末を迎え、今年度の重点目標を評価点検し、次年度に向けての改善策をまとめるこども園関係者評価を行いました。評価委員の方々よりいただいたご意見を一部紹介します。



①人と関わる力を育てるための環境構成や援助のあり方を工夫する。

- ☆達成状況:達成した
- ★改善の方策
 - ・職員会議を通して複数の視点で子どもの様子を捉え、保育に活かすことができた。職員間での話し合いや共有を大切に、保育につなげていきたい。
- ★関係者評価:◎(適切)
 - ・一人ひとりにあった保育がおこなわれており、悩みごとについてもお迎え時や連絡帳を通して担任の先生が親身に相談にのってくださっている。担任の先生以外の先生方も子どもの様子をよく見てくださっていると感じる。現在行われている取り組みを今後も継続していただきたい。
 - ・保育士同士のチームワークをよくすることが子ども達にも影響する。職員間の意識の共有を続けてほしい。

②異年齢児や友達と関わりを深め、健康な心と体を育てる。

- ☆達成状況:達成した
- ★改善の方策
 - ・縄跳びなどチャレンジ遊びでは、友達同士でコツを教え合ったり励まし合ったりする姿がみられ、刺激を受けながら意欲的にチャレンジする姿が育ってきている。また、3・4・5歳児合同で散歩に出掛け、急な坂道や長い階段にも友達と励まし合いながら楽しく取り組む姿が見られ、体力の向上につながった。季節ごとの散策を通して、四季折々の自然に触れることができた。
- ★関係者評価:◎(適切)
 - ・大縄跳びでは友達と協力して記録を伸ばす経験が、子ども達の自信につながっていると感じる。
 - ・散歩では、異年齢の子どもと手をつなぐなど、思いやりや責任感が育ち、季節や場所を安全に配慮しながら実施していただいていることに感謝している。
 - ・波賀みどり保育園との新幹線学習などの交流活動も大変良い取り組みであり、事前学習を含め今後も継続してほしい。

③食の理解を深める推進をする。

- ☆達成状況:達成した
- ★改善の方策
 - ・夏野菜の苗を実際に見て選び、育て方を教えてもらうことで栽培への興味を高めることができた。毎日の水やりや生長の変化に気付き、伝え合うことができた。
 - ・収穫した野菜を使ったクッキングや家にも持ち帰ったことで、家庭ともつながる食育につなげることができた。また、栽培活動をきっかけに給食に入っている野菜の名前や他の野菜にも関心を広げることができた。
- ★関係者評価:◎(適切)
 - ・野菜の苗の購入から栽培、収穫まで、子ども達が生長を実感できる良い経験になっている。持ち帰った野菜を家庭で調理することで一緒に料理し、クッキングでしたきゅうりの塩っぺ漬けが得意料理になっている。現在は家でも畑の仕事を手伝ってくれるようになった。
 - ・アンケートの中で、朝食を摂って登園できているか確認する項目があってもよいのではないか。

④千種町連携一貫教育の中で、小学校・中学校・高等学校や地域とのつながりを大切にする。

- ☆達成状況:ほぼ達成した
- ★改善の方策
 - ・毎月園だより、クラスだよりを発行し、連絡帳を通して日々のクラスの様子を伝えることができた。
 - ・連携交流では、子ども達が毎回楽しみにし、意欲的に参加する姿が見られた。行事の重なりや感染症の流行など状況に応じて時期を調整し、柔軟に対応しながら実施することができた。次年度は、よい子ネットがバージョンアップされるので、より活用し園の様子を継続的に発信していきたい。
- ★関係者評価:◎(適切)
 - ・和太鼓やマラソン大会、木育活動、保健委員会活動など、園・小・中・高の連携によるさまざまな取り組みが行われており、小学校入学へのステップアップがスムーズに行われているように感じる。
 - ・よい子ネットは写真付きで子ども達の様子がわかりやすい。お忙しいとは思いますが、もう少し回数が増えると嬉しい。
 - ・合同文化祭は大変素晴らしい取り組みであり、今後も継続されることを期待したい。

【総合的な学校園関係者評価】

- ・幼児期に最も育みたい力は、非認知能力であると言われている。様々な課題を1つ1つクリアしていきながら、先生方(保育者)の努力やチームワークによって、子ども達の非認知能力が着実に育っていると感じている。
- ・「人と関わる力」を育てるための環境構成の工夫の1つとして、持続可能な方法で園小交流(特に低学年との交流)ができれば良いように思います。
- ・年々少子化の中、たくましく育ててくれることを願います。